

---

# 塵にもならない

モノさん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

塵にもならない

### 【Nコード】

N8447X

### 【作者名】

モノさん

### 【あらすじ】

初めは海岸のことを書いてたんだ

(前書き)

襲、  
みたい。

生命の循環によって無感情の柩に埋葬されていた嘗ての生命たちの骸が、僕の余りの頹廢に耐え切れないで、僕の目に向かって今、激しく飛び出して来る  
握った鉛筆から、  
踏みつけた白砂から、  
そして僕の腕からも。

骸たちは僕の目に向かって顔を巨大化して口々に訴える  
「僕らは生きていた、でも、誰か、それを知ってる？」

それを聞いて僕の身体の原子である小さきものたちはすすり泣きを始める。

スピーカの角からは、人の骸の小さな顔が飛び出して、叫ぶ

「僕は生きていたの？」

「誰だっけ？」蜻蛉の骸。

「誰？」「誰？」仔猫の。蝶の。

「？」渡り鳥の。

……

…

僕の身体の小さきものたちはすすり泣きを止められないで

ふいに、骸たち  
鉛筆のものも、  
白砂のものも、  
そして僕のものも、  
皆、ふいに、口を閉じて、また空間を歪めていたその顔たちも窄む。  
まるで、同時に始まった僕の崩れを知っているかの様に。

小さきものたちがすすり泣く細かい劣化の震えは  
この静寂によって明確に映し出されたお互いの呼応を心臓の鼓動よ  
りもはやめ

僕の映像にさざ波をたてて  
境界は既に乱れ  
ひび、

その曖昧な輪郭のピースは一つ抜け落ちる

ピースに弾けた、小さきものたちが  
流れ、ひとつ、また、ひとつ。

映像に抜け落ちたピースの裏側の穿ちにどうしようもなく吸い込ま  
れ、流れ出すままに、  
ひび、ひび、  
ひびに、皆流れてゆく  
その濁流は激しい水しぶきとともに穿ちを拡張して  
さらに波食し身体の輪郭を蝕み続ける

穿ちに落ちた身体の小さきものたちが空気に溶けだし透き通ってか  
らは、

僕はその熱を奪われた陽炎の揺らめきに凭れかかることだけしかで

きず、やがて

僕すら背景になる。

跡には

何事も無かったように。

何もしなかったように。

想いは、何事も無かったかのように

想いは、何もしなかったかのように

どうして

僕は、塵にもならない。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8447x/>

---

塵にもならない

2011年10月23日11時18分発行